葛西玄涛先生選評

横井佑雪　推選　豪快な腕の動きから雄大な雰囲気が強く感じられます。鷗亭先生の参考作品の字形を忠実に表現しながらこの空気を出すには観察力、表現力等が豊かなのでしょう。

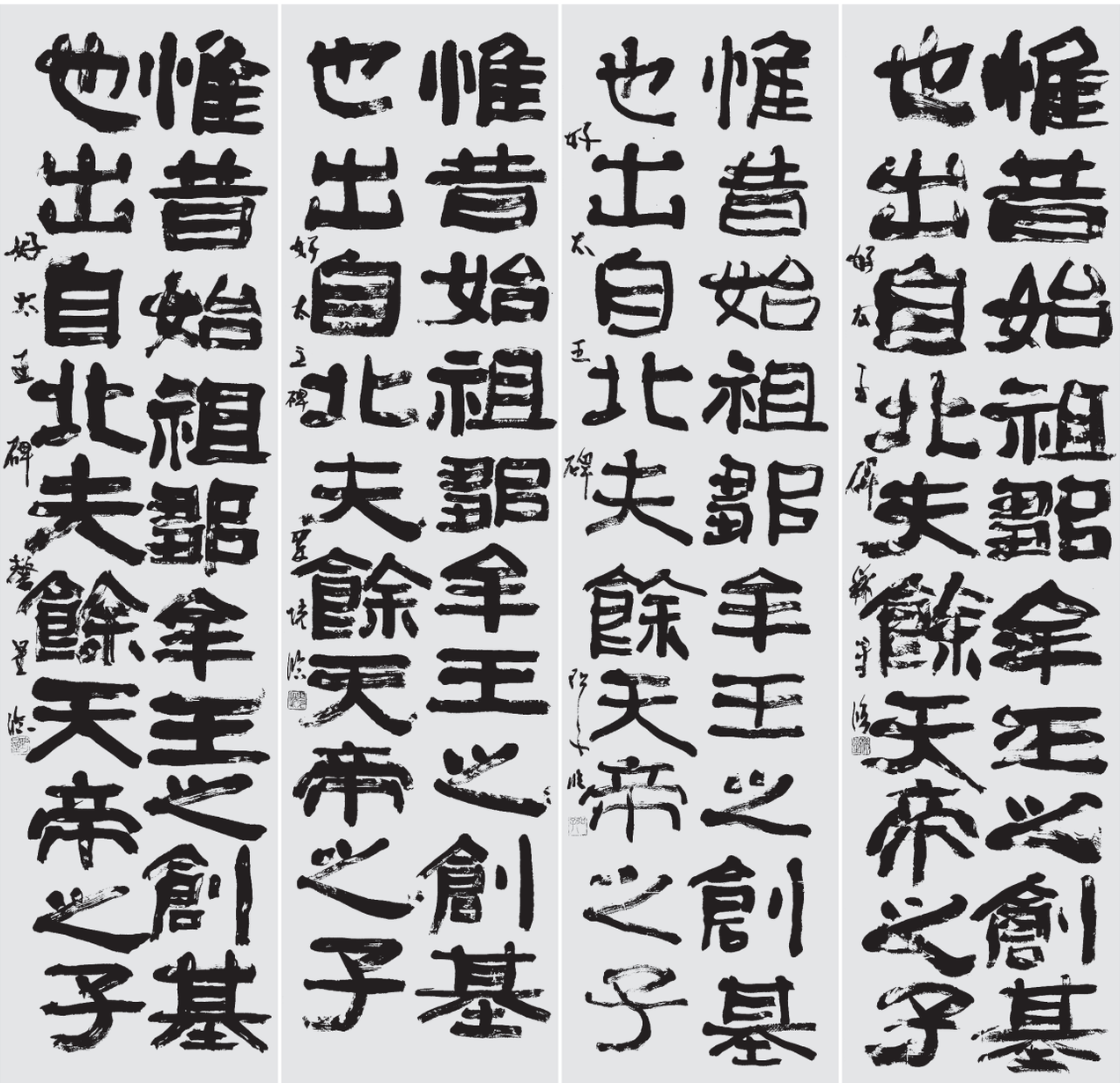
宇賀神松枝　推選　曲線を有効に使い柔和な文字の表情が、優しく微笑んでくれる。細線の直筆が作品の基礎をしっかり支えているので、他に負けない強靭さを感じることもできる。

吉田香雪　推選　線を密にした漢字の字形が、作品全体を引き締めて、良い緊張感を生んでいます。筆を深く沈めた線は温かくて厚みがあり、表現の幅が広い証明になっています。

蓮見南海男　推選　紙面からはみ出るほどの踊る線は、変化の激しい動きを筆に伝えることで生まれている。楽しさが前面にある中で、しっとりとした潤筆が随所で輝いています。

漢字条幅最優秀作品　（5月15日締切分）

武良霜伯先生選評



梶原稀星　推選
堂々とたっぷりとした墨量で横へ横へと運筆し、動きと心地良い勢いを感じた。何かを求める心の動きと、吐き出す呼吸を感じる事ができる。潔く清々しい作。

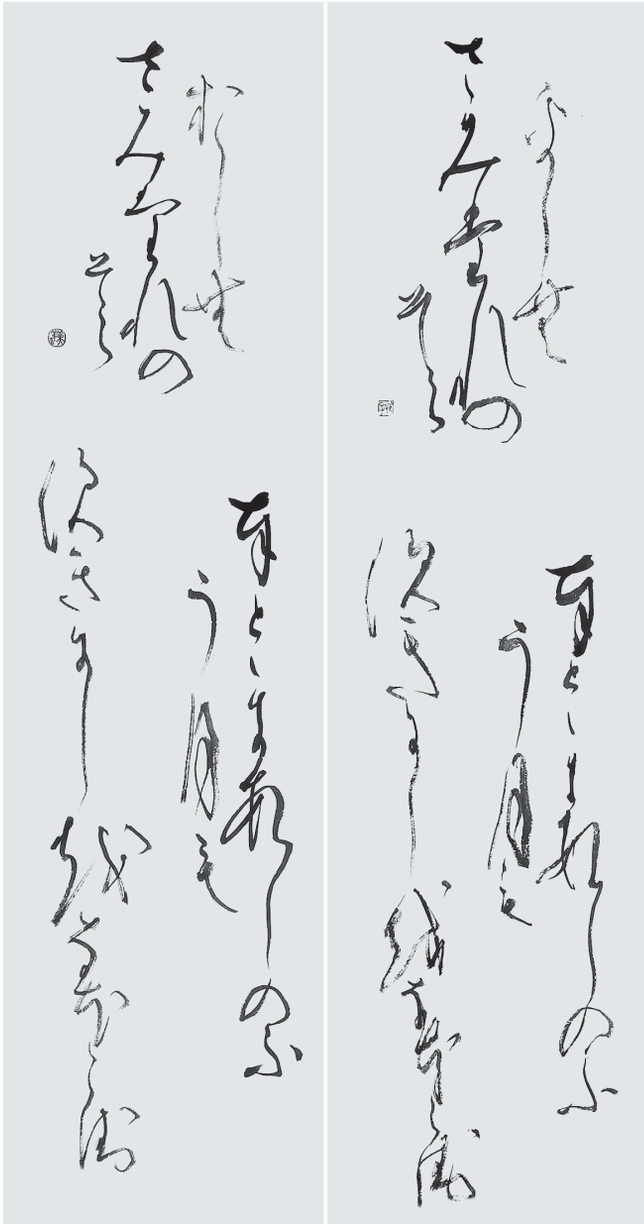
高橋弘子　推選
明るく伸びやかに、練度と粘りのある線で気持ち良さそうに書かれている。線がスッキリして、かつ豊かでゆったりとした構え、深さを感じる出来映えに関心しました。

三田翠恍　推選
蔵鋒を一点一画きっちりと疎かにせず、真正面からの表現で好感が持てます。その沈着な筆遣いは揺るぎなく、気宇の大きさを感じ、落款も含め力量の高い作品です。

鹿田馨星　推選
力強く原帖の素朴な生命力が伝わって来ます。深遠なる遥かな原始性が甦ってきたよう。重厚な中にも潤渇強弱を内蔵しており、心に迫る輝きのある作品です。

かな条幅・かな半紙最優秀作品　（5月15日締切分）

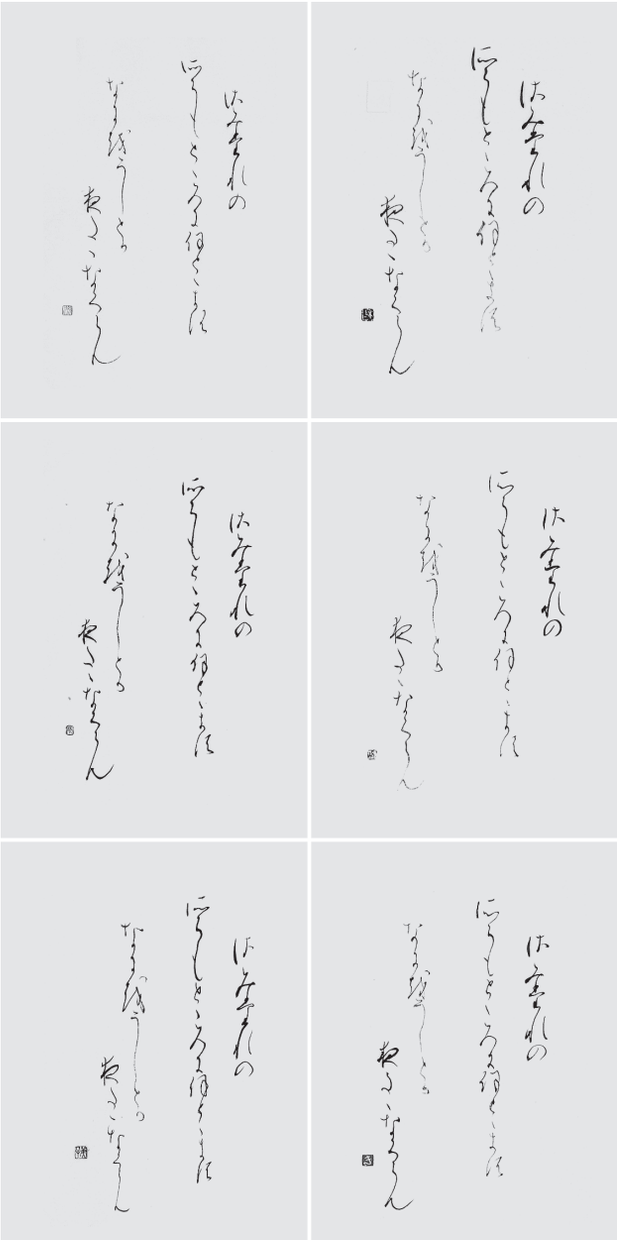
吉澤真理先生選評



小林悦子　推選
全体を貫通する勢いのある運筆で線が生き生きと躍動感にあふれています。文字造形にも作者の意志が感じられ個性的な仕上がりです。

富永美祥　推選
程良い緊張感の中にある柔らかくて温かい線が魅力です。運筆のリズム良く潤渇の変化を心得た余白の美しい作品です。

吉田久実子先生選評



得田和　師範
強いタッチのところ、又優しく雅びな箇所を繊細に読み取り、原本から受ける筆者の感動が作品から伝わってくる。各行が響き合う美しい作。

三井島茜舟　準七
細線の美しさは群を抜く。又、元永本の特徴的な字形「な」も見事に捉え筆者の臨書への真摯な姿を観る。静かな書作の中に平安の世を想う。

徳永ひろみ　師範
滑らかな淀みない表現、字形の確かさは、古筆を習熟していて深い。更に筆圧の変化をつけ緩急を心掛けるとより趣ある作に。

松下晃子　準五
連綿伸びやかで線質勁い。四行の流れ調和佳く、日頃の古筆への臨み方の深さが窺える。二行目後半やや渇筆にすると更に変化のある作に。

土田きみ子　準師
気負わずリズミカルな運筆は、正に元永本の特質を捉え、鋒先をしっかり効かせた線魅力。潤渇の変化も的確で最後の一行の強さが光る。

東谷美子　四段
原本の持つ優雅な楽しいリズムを感じる。三行目渇筆部分の表現見事。二行目と三行目の行間を広めにとると全体構成更に締まった作に。

漢字半紙最優秀作品　（5月15日締切分）

江幡太瓏先生選評

山崎珠園　師範　何と言ってもリズムが素晴らしい。だから線が明るく活き活きしている。文字の中の白も多く大きく見える。一つだけ、「臨」の位置に印だったかもしれません。

西本洋子　七段　文字の中の白が少なく窮屈に見えますが、筆圧充分で線はとてもしっかりしています。遅速や、墨量の変化などを心がけてみましょう。

宮内悦子　師範　落筆の高さ、起筆の力強さ、お手本をよく見ています。女偏の二画目、三画目の上下運動素晴らしい。冒頭の「落筆の高さ」の成せる業ですね。

神田恵子　準六　貴女も落筆高く起筆が素晴らしい。横画の終筆どうなっているのか。抜いている、軽く止めている、突き上げている…。原帖をじっくり観ることですね。

江戸裕美　準師　墨量充分で貴女もリズムいいですね。太細、浮沈が見事です。立体感のある素晴らしい作品です。一つ欲を言えば少し渇筆が欲しかったかな。

坂本友美　準四　もう少し潤渇が欲しいところですが、浮沈、抑揚が素晴らしく連綿も自然な動きで軽快です。「鎮」の「真」の長い横画は原帖右に少し出ていましたね。

宮島美由紀　師範　張猛龍の力強さ充分に表現されています。「中」の転折、縦画も筆圧充分で見事です。今回は少ない横画の終筆の捉え方、判断の難しい所ですね。

井上順子　五段　六人の中ではやや墨量少なく細身だが、それに負けない線の強さが光っています。印が小さく仮名用みたいで本文とは合っていませんね。

島崎ゆう子　準八　左右の比重を見ると一字目大きく、二行目少し弱く感じます。「地」でもっと墨つけて大きく太くしても良かった。線明るく抑揚が素晴らしい。

豊川美代子　準三　「守・地」が幅広で少し潰れているのが気になりますが、やはり線はしっかりしています。「司」が掠れていれば「地」の墨がもっと活きましたね。

青木桂涛　準師　やや大きいが張猛龍だからいいと思います。起筆しっかりしており、伸びやかで心地良いです。「中」の縦画はもう少し右かな。落款少し低いです。

松本梨香　四段　墨量、筆圧充分で重厚感、力強さ抜群です。なのにこの仮名的で細いお名前は本文とは合っていません。他の方のお名前をよく見て勉強しましょう。